

夏季學園

日本大學幼稚園長 山田 仲子

名稱を、小學生が半数で御座いましたので夏季學園とい
しました。

夏季施設といへば大抵は海濱學校とか林間學校
とかで全く父母の許をはなるゝか、それも大抵は
小學上級生に限られて下級生や幼兒の爲めに考慮
せられたる施設の殆ど見られぬことは誠に遺憾に
存じて居りました。それでどうかして之等の點を
補ひ、

父兄が安心の出來得るやう、

暑い長いお休みを子供の心に倦怠を來させぬや
う、規律正しく習慣づけられた起居を助長し、身
體と精神とをよりよく健かに伸ばして行きたいも

のと思ひ、倉橋先生、その他當町小學校長の御指
導と御鞭撻とを得て左記の通り開催いたしました
次第で御座います。

施設概要

- 一、場所 當園内
 - 一、期日 八月三日より二十九日まで(四週間)
 - 一、資格 本園兒及び一般の滿五歳より尋常二
年まで
 - 一、定員 七十名
 - 一、費用 參圓(すべてを含む)
- 設備
- 園舎、園庭、各種運動具、外にボールを新設しま

した。

プールの位置

北と西とを脊負ひかぎの手に建られた園舎に添つて東と南の日光を充分に受け東南二方は生垣を以て圍ひプールの出入は園舎の廊下より行ひ管理を容易にいたしました。

形状

廣さ十六坪、深さ七寸より二尺まで、底面傾斜尋常五六年位までの數種の泳法可能にして又幼児にも危険ありません。

用水

地下三百尺の絶對無菌認可飲料水モーターにより供給し又絶えず噴水により新陳代謝を計る。

製作及び經費

周圍及び底面を厚さ五寸のコンクリート作りになし經費二百五十圓を要しました。
但し井戸及モーターは以前備付のものを使用す

收容兒童

幼稚部、四十名

内譯 當園兒二十七名

一般幼兒十二名

他幼稚園兒一名

小學部、三十六名

内譯 一學年二十名

二學年十四名

三學年 二名

町別 杉並町、井萩町、中野。

學校別 杉並第五、杉並第一、杉並第七、杉並第

三、程ヶ谷、麴町富士見

當園兒の半數は家族と共に避暑或は旅行等にて大半の出席を見なかつたことは残念で御座いました。小學部に三年二名入園許可せしは弟妹の都合による。

入園許可

入園許可は身體検査により八十五名の志望者から右の七十六名を決定いたしました。

身體検査はトラホーム、皮膚病などの傳染病に重きを置いていたしました。

保育關係者

園長	一	保姆	二
囑託	三	補導	五
囑託醫	一	使丁	一

實施日課要項

午前七時三十分より、幼稚園は十一時五十分まで
 小學部は午後三時三十分迄
 朝會七時三十分に始り、訓話、ラヂオ體操。

次に毎朝健康診斷を行ひ、小學部は學習に、幼稚園は豫定による保育に入る、プールは午前十時半より一時間、午後は一時半より二時半までとし、其の間體育運動、遊戲、音樂、童話、自由遊び等適當に指導實施す。

又午前十時に各兒持參のキャンデー類少量を間食させ十一時五十分晝食、終りて幼稚園は歸宅、小學部は一時まで午睡、午睡は神經質の子供やふだん習慣なき者には靜かに童話を聞かせては目をとぢさせるやうにいたしました。身體に故障ありて水泳出來ぬ子供にはそれ／＼適當の遊びを與へるやうにしました。水泳の前後は必ず準備運動整理運動をいたさせました。

プール使用の實際

衛生上の處置

一、毎朝健康診斷により個人入水の可否。
 一、水泳着、水泳帽を着用せしめ、耳には綿栓を施したるも馴るゝに従ひ水にもぐるやうになり功なくなりましたので水から上りました後一人一人に脱脂綿を以て耳孔を拭つてやりました。

一、プールにより上りたる時は直ちにかはさた

るタオルにてふき取り毛糸ネル等の腹巻さを
いたさせ冷えぬやう注意いたしました。

一、プールの周囲には數個の痰壺を備付け又不
斷に布網にて塵埃を抄ひ取り一度入りたる水
はコロカルキにより殺菌し又一週二回(水、
土)は必ず全部換水しました。

一、身體は常に清潔にし水泳着は毎日かはるが
はるに乾燥したるものを持參さるゝやう。
又寝冷え其他食事等については家庭と連らく
して注意いたしました。

水泳指導

特に泳法に熟練せし男教師二名にて指導をいたし
始めの一週間の二三日は一回入水時間。

幼稚園は三分

小學部は五分

點鐘合圖にて交々泳がせるやうになしプールの周
圍にて日光浴をいたしながら休息をさせ漸次馴るゝ
に従ひ時間延長し二週目からは幼稚園にても七八
分位までにいたしました。

幼稚園には基本練習とか正確なる教授は出來ま
せんが浮輪を用ひれば大半は一人で泳げるやうに
なりました、小學部の三分ノ一は二種位の泳法可
能になり三年生は數種の泳法を立派に出来るやう
になりました。

實施行事

開催以來天候に恵まれ實に三週の間は一日の雨
天もなく兒童は嬉々として水にたはひれ次第に皮
膚の色は黒色となり見るから元氣あふるゝばかり
でありましたが四週目には少しく天候變りました
のでプールをやめて豫定の行事に入りました。

先づ映畫の朝をいたしました、御暑い折からと
て夕ならで朝にいたしました、兒童は朝早くから
大よろこびで出てまゐりました、陸軍々用鳩養成
所、鐵道省、内務省の後援を得て三時間に餘る長
時間も朝のうちだけに苦もなくよろこびのうち
に終りました。

此の事業と關係なき御話しては御座いますが當
幼稚園にては五間に十間の講堂に暗室設備をいた

して御座います。兒童には目より入る教育の早道なることを思ひまして度々一般にも公開し社會教育の一端にも資したき考ひで御座います。

園外保育、園外學習、森の童話會、近郊ピクニック、神社參拜。

之等は前の三週の間にも二三回開きましたが周圍が自然に抱かれて居りますだけ至極簡單に出来ました。樹木生ひ繁る神社も近くチクオンキやオルガンを持ち行きて木の間をあとり廻つたり又格別の樂しみを得られました。

運動會、これも又面白い催しでした。

職員總がかりで前夜のうちに園庭はテントや萬國旗に飾られ中央には三〇メートルの可愛い、競技場が出来ました、幼稚園の運動會だといふので家庭からも老若男女ぞろぞろと出て來られました。大人も子供も先生も打ちまじりこの數種の競技、負けても勝つても笑つて過ぐず、賞品も與へなければ景品もない、それでもまけるものかといふんばるえらぞ。

今度は園長先生も出なければだめだよと、とうとう引き出されて園の玄関にある殆ど實物大の郵便受ポストをかつがせられた。兒童にとつてはさぞかし樂しみのページであつたことと思ふ。

二十九日いよいよ最終日、數百に飾る來賓を迎へて學藝會を開きました、日頃は遠慮勝の子供でも知らず／＼引き入れられて數回ステージに立つことも出来ました。

ピアノ獨奏、合唱、遊戯、童劇等數十種。

職員のコラス隊も出来ましたし、劇は數番上演されるといふプログラム實に盡させぬ興に名残りを惜しみつゝ四週間の終りをつけました。

かへりみて

酷暑の折の四週間はかなりの長い時日でありましたが子供たちに取つては全くの樂園であつたことと思ひます、ことにプールは何物にもかへがたきまでに喜ばれました。

出缺席の歩合は在籍の二割が缺席になつて居りますがそれも大抵は輕度の咽頭炎位か又は中途よ

り旅行に出しものにて他はことごとく元氣に通園いたしました。

全員の内男一、女一、身體薄弱にて全身を水に浸すことの出来ない者がありました。がたま／＼ひざ位までは水に浸し日光浴と運動とを充分いたさせましたところ四週目には體重も身長も増加し顔の色はおどろくばかりよくなりました。

外に腎臓炎の病後の女子一人ありましたが日光浴と適當の運動によつてすつかり元氣恢復し二週目には検尿の結果水泳を許され四週目にはこれも非常なるよき成績を得られました。

其の他濕疹などの子供もありましたが直ちに快癒しました。

御暑い時に水、大人でも、これ程好ましいものはないと思はれますのにまして子供にはどんなに愉快であつたことと思ひます。出来ることならもつと廣くして危険のないこうしたプールで子供の心に安心を與へて思ふまゝに泳がせてみたいと思ひます。

或る男の子は毎年海へゆきましたが小たんの爲めにどうしても水には入り得なかつたといふ、それが今年は立派に泳げるやうになつたので、両親も本人も少なからず満足しました。

幼稚園教育を受けた者も受けないものも、小學部は六校もの學校から集りましたのですが少しもお互ひにへだたりがなく目上目下の關係も美しく此の點については全く幸福で御座いました。

こうした楽しい又變つた生活のページが織り込まれたことは必ず來るべき學期の大きなエネルギーとなつてあらはれることと思ひます。

尙これは實現の困難なことでは御座いますが兒童の食事も園にて一樣に仕度が出来たら一層の親しみがあり養育上にも訓練上にも大いに有效ならんと思ひました。今夏は職員の食事だけ園にて仕度をいたしてみましたが誠に面白う御座いました。せめてお十時に頂くものだけにでもと思ひましたけれどそれもいろいろの都合にて持參をさせました。